

おおた ライフ

あなたは「ユニバーサルデザイン (UD)」
をご存じですか？

「ユニバーサルデザイン(UD)」の概要

ユニバーサルデザインとは、1980年代にアメリカのロナルド・メイス教授らによって提唱された考え方で、UDという略称で本紙のタイトルとして使用しています。

大田区ではUDを「**あらかじめ障がいの有無、年齢、性別、国籍等に関わらず、多様な人々が利用しやすいように考えて、都市や生活環境をデザインすること**」と定義しています。

なお、UDの例として、視覚に障がいのある方に配慮したシャンプーボトルの凹凸等がありますが、それだけではありません。右のイラストのように、**様々な人の状況や希望、用途に合わせた選択肢がある**ということもUDの考え方が反映された一例です。



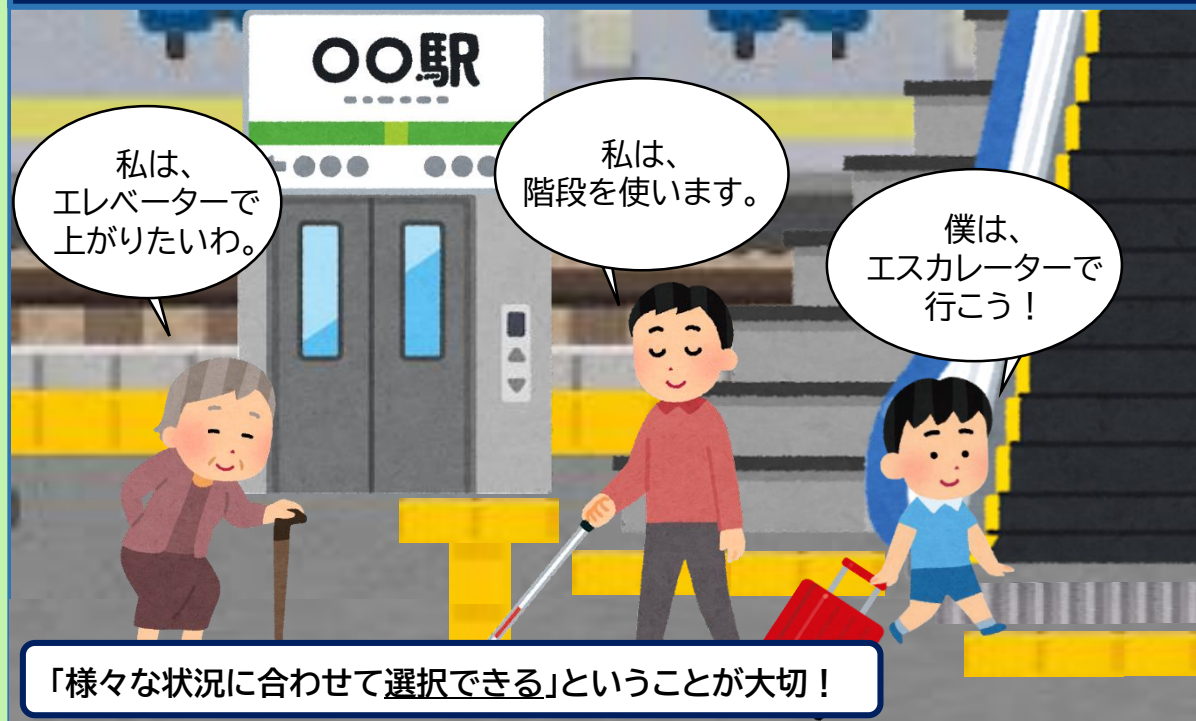
今回は

☑改めて知りたいUDの基本的な考え方

☑大田区がめざすUDのまちづくり

についてご紹介します！

UDの例



Q UDって、商品や建物とか、モノのデザインのことじゃないの？

A UDは、モノのデザインだけではなく、教育や文化、コミュニケーション方法など、**多岐にわたって必要となる考え方**です。

大田区がめざすユニバーサルデザイン(UD)のまちづくり

『大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針』(平成23年3月策定)では、大田区がめざすUDのまちづくりを以下のとおり示しています。



ステップ 1

UDの考え方が広がり、

やさしさ・やくそく まち・くらし

のキーワードとともにまちづくりが進む

やさしさ・やくそく

- ・相手の立場や個性を理解する
- ・差別しないことの徹底 等

ステップ 2

UDのまちづくりに参加できる
やUDのまちづくりを評価する
が生まれる

しくみ

しくみ



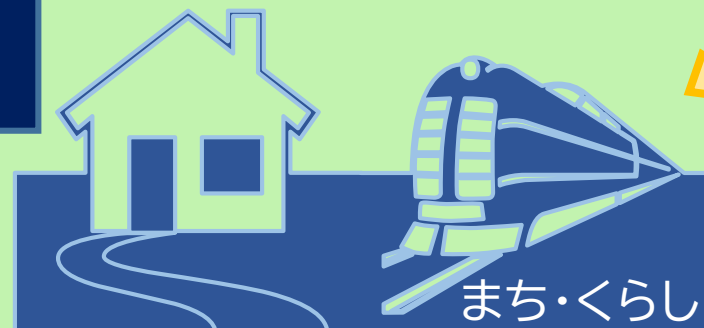
©大田区

ステップ 3

「やさしさが広がり、だれもが安心して快適にすごせるまち おおた」の実現

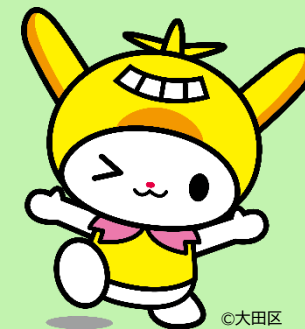
しくみ

- ・誰もが楽しみながらUDのまちづくりに参加・参画し、それを評価するしくみ 等



まち・くらし

- ・安全で安心な生活が送れるよう整備
- ・多様な移動手段の選択肢がある 等



©大田区

詳細は区HP等から
『大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針』
『大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針
アクションプラン』
をご確認ください！



区HP

大田区
ユニバーサル
デザインの
まちづくり
基本方針
アクションプラン Ver.3
[特約6(2024)年度～令和10(2028)年度]

[改定版]



大田区

大田区

大田区

大田区

大田区

大田区

大田区

大田区